



今須宿問屋場 特別公開 9/6 (日) 9:00～15:00

美濃 16 宿で唯一、現存する問屋場

中山道の旧今須小中学校を越えて西へ 100m ほど進むと、今須宿問屋場（旧山崎家住宅）があります。問屋場とは、江戸時代に宿場を円滑に運営するため、宿役人が業務を行った施設です。宿役人は、幕府の公用旅行者のための人足や馬、宿泊所の手配をはじめ、公用文書を運ぶ飛脚の管理などを担っていました。交通の要衝であった今須宿には、かつて 7 軒の問屋場があったと伝えられています。今須宿問屋場は、中山道美濃 16 宿のうち、当時のまま現存しその威容を今に残す唯一の遺構です。縁起物の永楽通宝の軒丸瓦や、広い庭と吹き抜けなどから、当時の繁栄振りがうかがえます。

令和 6 年の調査により、建築年代が 1828 年と明らかになり、令和 7 年 2 月に今須宿問屋場を町有形文化財に指定しました。中山道に関連する建造物としては、町内で初めての指定文化財です。

今須宿問屋場開放日

今須宿問屋場をより身近に感じていただくため、令和 8 年 9 月 6 日に施設を一般公開します。当日は建物内部を自由に見学いただけるほか、休憩や交流の場としてもご利用いただけます。中山道今須宿の歴史や文化に触れながら、今須宿問屋場の魅力や今後の活用について考えていただく機会として、お気軽にお立ち寄りください。

■日時：令和 8 年 9 月 6 日（日）午前 9 時～午後 3 時頃

※午前 10 時と午後 2 時に、職員による問屋場内の案内・解説を行います。

■問合せ先：関ヶ原町地域振興課（0584-43-1112）

